

平成8年7月20日 発行



議会

— 第99号 —

ひがしなるせ

だより



部落総出で道路の手入れ作業

(滝ノ沢部落)

もくじ

- ・村長、教育長の行政報告…………… 3 ページ
- ・臨時議会の報告…………… 4 ページ
- ・一般質問 (谷藤 茂 議員) …… 5 ページ
- ・一般質問 (富田義行 議員) …… 6 ~ 7 ページ

もくじ

- ・一般質問 (伊勢谷政雄議員) …… 8 ページ
- ・補正予算などの主な質疑…………… 9 ページ
- ・部落要望の処理方針など…………… 10~11 ページ
- ・私もひとこと (田子内・高橋 進さん) …… 12 ページ

発行
東成瀬村議会

編集
議会広報対策特別委員会

〒019-08 秋田県雄勝郡東成瀬村田子内字仙人下30-1
☎(0182)-47-2111

天正の滝散策路などの整備に予算を措置

一般会計
予算総額 **34億2千6百万円**余りとする

緑とのふれあいの里整備事業に2千4百万円余りを予算化



整備される天正の滝周辺

6月定例会

こんなことが
決まりました

六月定例会は、六月十二日から十四日までの会期で開かれ
国保条例の一部改正案や本年度の各会計補正予算案など七件が提案された
最終日には、議員発議で国の省庁への意見書二件のほか
秋田県知事に対する食糧費問題の徹底説明を求める意見書などが提案され
これらすべての議案や意見書は原案可決となった。

6月定例会の提出案件と主な内容

- 村民健康保険条例の一部を改正することについて
主な改正点は次のとおりであった。
▽所得割の税率を、百分の四・一から百分の四・四に
▽均等割額を、一万四千六百円から一万五千円に
▽平等割額を、一万五千円から一万五千五百円に
この改正に併せて、軽減額も
それぞれ改められたが、詳しいことについては
役場・税務課へお問い合わせ願います。
- 村道路線を認定することについて
・手倉地区の、村道真戸・椿台線から分岐して
佐々木友三宅を経て村道松根線に接続する区間を
村道に認定し改良整備を進めるといふものであった。
- 平成八年度一般会計補正予算
○ 平成八年度国保(事業勘定)・簡易水道・老人保健・
老人福祉施設運営の四特別会計補正予算
以上の補正予算のうち、一般会計の歳出に関する
主な質疑は、九ページに特集している。

6月 行政報告

村長



成瀬ダム開放講座を東成瀬と増田で開催

- ▼ダム事業審議委員会もハイペースで進行中!!
- ▼成瀬ダム建設がいろいろ見えるような形での動きが出てきた。
- ▼成瀬ダム事業審議委員会は五月一日に第一回目、同三十日には第二回目の会議を開く、というハイペースで進んでいる。
- ▼最近の環境への配慮から「環境地質調査専門委員会」も設置され、これらの調査結果を踏まえた第三回目の審議委員会が開かれることになっている。
- ▼一般の方々への理解を求める手段として「成瀬ダム開放講座」を増田町・東成瀬村の二カ所で開催することにしている。
- ▼今年の海外研修は、デンバーに高校生を派遣する計画が進めており、予定を越える応募があるようだ。
- ▼ジュネス栗駒スキー場の今シーズンの入場者は十六万三百余人で前シーズンとの比較では二万七千六百余人の増となっている。
- ▼このうちホテルプランの利用者は二万七百人余りで宿泊利用者は三千七百人余りであった。
- ▼須川湖キャンプ場を管理する有限会社の設立は民間の方々を中心となって進めており、村の出資も求められている。
- ▼このキャンプ場は国定公園内の施設であることから、自治体も参加した第三セクターであること、などが受委託の要件としてある。
- ▼入道ミニサテライト局の改修工事は、NHKと民間三社で七月下旬に着工し、八月上旬には放送を開始したいと伝えてきている。
- ▼九十六ヘクタールの生産調整目標面積は達成される見込みのようだが、今後はとも補償制度の活用が大きくな要因になるものと思う。
- ▼畜産市場は高値方向で推移しているようだが、今後は肥育牛対策や受精卵移植など、研究検討しなければならぬ課題が多く、畜産農家の意見を聞きながら対処して行きたい。
- ▼今年のトマト作付けは、戸数、面積ともに昨年度とほぼ同じだと聞いているが、増産・高値販売を期待しているところである。

教育長

平成九年度の二校統合は白紙還元

今後、充分に検討を加え対処してゆく



- ▼平成七年十二月及び平成八年三月の定例会において「平成九年度に樺川・大柳小学校の統合を考えており、平成八年度はその準備の年としたい」旨を述べてきた。
- ▼このことは村当局と相談し指導を受け、教育委員会としては「統合が望ましい」との願望から、計画の概要を申し述べたものであった。
- ▼本年五月から準備に入る計画でいたところ、大柳地域代表の方から「保護者をはじめ、多くの地域の方々に反対の声が強いので、今すぐ統合することのないよう再検討してほしい」旨の強い要望があった。
- ▼また村PTA連絡協議会では春の総会で次のようなことが協議された。



昨年視察した大柳小の複式授業

- ①統合のことは、村P連のこととして考えるべき重大なことだ。
- ②二校統合しても複式は解消されず、メリットがない。
- ③四校を一気に統合するのであれば賛成だ。
- ▼一方電話などで、閉校になれば、長年地域の文化センター的存在のよりどころがなくなる。公民館と合同でやって来た運動会も無くなる。
- ▼なるのは誠に残念極まりない、という声も寄せられた。
- ▼教育委員では、以上のような情勢から村当局とも相談のうえ「統合問題は、時期尚早であり『今すぐ』の考えを留保し、今後充分な検討を加えながら慎重に対処する」ということで、平成九年度からの二校統合は白紙還元とすることに決定した。

栗駒山荘新築工事

- ・ 契約の金額 ———— 11億 9 千995万円
- ・ 契約の相手方 ———— 西松・東翔建設工事共同企業体
- ・ 契約の相手方代表者 — 西松建設(株)東北支店
(仙台市青葉区大町)

臨時会

去る六月四日、次のような内容で臨時議会が招集された。
この日の案件は、栗駒山荘の新築工事に関する請負契約承認案件のほか、村長が専決処分した、平成七年度の各会計に関する精査された補正予算並びに村税と国保税条例の一部を改正したことの報告であった。これらの議案は、すべて原案可決または承認とされた。

栗駒山荘新築工事請負契約を締結することについて議会の議決を求めるという議案は、満場一致で原案可決となったが、この議案に対する主な質疑に次のようなものがあった。

請負業者の現場管理に

心配はないか

富田議員 大手セネコンの西松建設が加わった共同企業体になっているが、実際の現場は「東翔」が担うのではないか。

プランの工事の件もあり心配だが大丈夫なのか。

企画課長 全国規模の会社で、東北一円の仕事をしている西松建設なので、卓越した管理技術などを信じている。

全額公費持ち出しで

建物を建ててやるのか

柳議員 株主などの内容は従来そのままにしておいて、公費を持ち出し建物を建ててやるのか。

村長 株主の増員、株式の増などは、現在の時点では考えていない。

新しい山荘は、村の施設として建設し、その管理運営は秋田栗駒リゾート(株)に委託してやってゆきたいと考えている。

山荘管理などに関する

一関市との交渉経緯は

富田議員 一関市側との交渉が予定されていると聞いているが、その経過を伺いたい。

助役 六月十日に予定しているところだ。

これは、山荘を管理運営している栗駒開発(株)の株主になっている須川高原温泉(株)、一関市も出資していることから、同社の社長の

要請によるものである。

この席では、分湯の御礼や、須川・栗駒一帯の今後の経営方針などについて説明したいと考えている。

その後、栗駒開発(株)に五十パーセント出資している須川高原温泉(株)の社長と今後の経営の受委託などの話しを詰めてゆきたい。

これは、栗駒山荘へ分湯するに当たって「五分五分の出資で会社を設立、そこへ分湯する」という約束があることから、新しい山荘の管理受委託などの諸条件についての話を詰めるのが目的である。



7月4日、新築工事の起工式が行われた

平成八年七月十六日

議会推薦の農業委員を選任するための

臨時議会が招集された。

議会推薦の農業委員

佐藤 正次郎 (45歳)

岩井川字東村四十四ノ二

鈴木 秋雄 (47歳)

椿川字堤五

七月十九日で任期満了となる村の農業委員のうち、議会推薦によって委員となる者を選任するための臨時議会が招集され、次の二名を推薦することに決定した。

いっぱんしつもん

6月定例会の一般質問には、3氏が登壇し
 谷藤（茂）議員は、村の結婚難対策と舗装工事などについて
 富田議員は、村営住宅関係や須川開発計画などについて
 伊勢谷議員は、成瀬ダム対策や村の農産物活用などについて
 それぞれ村の考えをたじた。



谷藤 茂 議員

結婚対策本部の設置を提唱したい

村長 〓 みんなでやろう、という気持ちでぜひ欲しい



村内での舗装工事

問 嫁さんを何とか探して、と願う家族や独身男性が数多くいる。独身男性は希望を、家族は光を失ったような深刻な問題だと思う。そこで、民間有志と行政一体のスタッフを募り、対策本部を設置して取り組むことを提唱したいが、村長の考えを伺う。併せて、嫁さんの働く場も確保してほしい。

村長 村内の嫁不足の件については深刻なこととして受け止めている。提唱された対策本部などについては、体制を作ることには賛成だがどのようにするかは思案中である。

民間主導型、行政主導型、といういろいろあると思うが、行政としても充分考え対処したい。

スタッフの選び方にしても「みんなでやろう」という気持ちを持つ方を是非とも欲しいものだとは思っているところである。

中国から来てくれたお嫁さんから協力を

問 村には、中国から来てくれた何人かの嫁さんがいて、その一人の家庭を訪問していろいろお話を聞いたことがある。この夫婦も中国での嫁さん探しに大いに協力願えると思うがどうか。

村長 議員が中国から来てくれたお嫁さんにお会いしいろいろとお話を伺い積極的な努力をされていることには敬意を表したい。質問と提唱の趣旨は判ったので、努力してみたい。

村内舗装業者の育成などについて

問 村発注の改良舗装工事に関して、改良工事業者と舗装工事業者を分けないで村内業者で賄えないものか。技術・人材からみても、村内業者でできると思うがどうか。

村長 村内の業者と契約した工事もある。ただ、国や県の指定が入ると「プラントがなければ舗装業者として認めない」とかの条件があるようだ。村では、差別などはしていない。



村営住宅用地の 選定基準、建設候補地を伺う

富田 義行 議員

助役Ⅱ 道路・日当たりなどを考慮 大字田子内・岩井川の数力所を検討中

問 どこに住宅を建てるかは、集落・学校の維持発展とも関わる。どんな基準・目的で、用地取得にあたるのか。絞られている候補地はどこか。

制度は何を活用するのか。宅地の分譲を望む声もあるが、それへの見解も伺う。
助役 国道などへのアクセスや日当たりがよいこと。造成しやすく高低差のない用地を選定対象に、検討を進めている。

目的はAターンUターン者への住宅整備を第一義に。候補地は大字田子内・岩井川地区の数力所を検討中だが「どこ」と言える段階ではない。

制度活用は建設省の事業もあるが、収入基準が厳しいなどの縛りもある。有利な起債の制度でできないものも含めて検討する。宅地分譲は需要調査なども行い、前向きに検討する。

学校統合は地域の意向を十分に汲み上げて

問 教育長は行政報告で小学校統合計画の経過を述べ、統合は時期尚早、とした。多様な意見がある課題であり、教育委員会では地域住民などの意見を十分に反映した論議をして、納得のゆく方針を出すべきだ。

教育長 どちらに統合するかについては、校舎規模などから椿川が良いと考えた。大字地域に一つの学校を残したいとの願望から二校統合案を出した。

教育委員会では大柳学区の委員から「統合の再検討を望む」意見が出され、それも充分尊重した。

今後は、むしろ地域から「統合してほしい」と要望が出されるような指導をし、統合がスムーズになされるように、と考えている。

学校に洋式トイレ

プールの安全管理徹底を

問 小中学校に洋式のトイレを一部設置するべきだ。子どものケガの際の体験を書かれた保護者の文章を見ての提案だ。

また、学校プールの排水口蓋の安全管理に万全を期することと温水シャワー設備の実現を望む。

教育長 ケガをした子どものトイレの事例は把握していなかった。予算のこともあるが、子どもを第一義に考えて充分検討したい。

プールは、児童生徒の命に関わることだ。点検頻度を多くし、より安全に水泳ができるようにしたい。

温水シャワーは温水プールと併せて今後の課題だ。
観光施設への職員配置と利用者動向予測



隣接町では、町営住宅が建てられている

問 ホテルプランを中心とした柳沢エリアの夏場の営業、三年後にオープン予定の須川新宿舎の位置づけ、職員配置計画を伺う

助役 旅行業者への売り込みが効果大と考え、グレス・テンスキーとバラグライダーのセット物やフィッシングツアーなどの計画も一つの手法だ。成瀬ダム関連の宿泊施設としても重要な部分



盛況が期待されるジュネスのグレステンスキー

になると思う。

現在の従業員配置は須川高原温泉に四人を派遣、休養センターに二人、グレスセンターに二人、グレスセンターの運搬業務にも分散、ホテル勤務はパートを含めて二十三～四人だ。栗駒山荘が改修されると、パートを含め約三十五～六十人の雇用ができる予定だ。スキー場は今後も宿泊は伸び、休養センターは毎年一万二千人台で推移、グレステンは昨年三千人だった

が今年はセットにすること
で伸びると思う。

栗駒山荘は首都圏中心が四十九パーセント、仙台中心が十七・六、秋田九・七、岩手八・六となっている。首都圏や仙台圏からはもっと多くなると期待している。

村リフト収入向上計画と須川開発の経過を伺う

問 スキー場の村分のリフト収入が当初計画とかなりの隔りがある。

少ない理由、当初予測の範囲か、また計画数値までどうもってゆくのか伺う。

須川新宿舍の経営問題は一関市からではなく、須川高原温泉(株)または栗駒開発(株)のいずれから出されたものではないかという心配が濃いが、その後の折衝経過を伺いたい。

助役 増えているスノーボードを対象にしたコースの整備、第二駐車場とそれに関連した二つの施設の利用をもっと検討したい。

須川新宿舍の件では、要約すれば、一関市の阿部助役が稲垣須川高原温泉社長と私に「良く相談し、この地域一帯を共同して盛り上げるようがんばって下さい」

ということだった。

前に私が述べた稲垣社長の話は「前市長から言われている」ということであって、今回は市の段階でどうこうということは無かったことを付け加えておきたい。

須川高原温泉(株)が全てに関わる、ということの無いよう交渉を進めたい。

須川湖関連の新築二セクターの構成などを伺う

問 須川湖に関連する第三セクターは、有限会社だと聞くが、その構成員と事業内容などを改めて伺う。

助役 須川湖キャンプ場一帯を管理する会社で、有限会社の登記準備が進行中だ。出資総額は三百万円だ。村以外の出資額は誰が幾らかはまだ判らず、役員構成も未定である。

出資予定者は佐々木隆男、佐々木芳隆、鈴木国男、備前幸男、高橋貞男、高橋忠治の各氏だ。

村内主要水路(堰)の台帳作成を

問 村には大きな用水路は別にして、延長などを明確にしたものが無いようだ。延長距離や水路の形態な

ど道路と同じように明確にする台帳を作るべきだ。

助役 主要水路十二本には水利権台帳がある。整備が必要であれば水利組合とも協議し進めたい。

岩井川地区の国道改良の見通しは

問 三九七号線の合居川橋から碎石工場までの改良計画は、いつごろの着工を見込んでいるのか。

三四二号線バイパスについては県の考えはそれとし、村はどのような路線が望ましいかと考えているのか。

村長 合居川橋から下野尻橋までの改良は、各地主の方々に折衝した経緯がある。本年度には調査を完了、九年度には着工のメドを立てたい、と要請している。三四二号線の岩井川バイパスについては、二～三本の子想路線を引いたようだが確定はしていない。

村債の繰上償還、借換で町村の共同歩調を

問 市中銀行債務で五パーセント近いものについてもなお繰り上げ償還の余地がないか。

同して銀行に働きかけるべきで、政府系資金も町村会として政府へ繰り上げ償還を認めるよう、村長からも要請するべきだと思ふ。

村長 一番高い利子関係の資金を何とかできないか、ということでも収入役や関係者で折衝に努力している。もう一步調べ、町村会などでも申し上げ期待に添えるよう努力したい。

県政の食糧費問題をどうとらえるか

問 不正が大手を振っていた県政の食糧費問題だが、腐敗をただし徹底解明を、という村民世論をどう考えているか。

また、県町村会ではこの問題について論議がされていないのか。

村長 カラ出張、カラ懇談会は誠に遺憾だ。徹底解明して新しい出発点を見ることができたいと思ふ。

四月の全县会議の際「早急に解明し新しい出発点」という話があったが、それに限って指弾するというようなことはなかった

成瀬ダム建設の着工に向けた 村の対応を伺う



伊勢谷政雄 議員

村長 建設過程で、要望・要請をしてゆく

問 国の「ダム基本計画」が示され、また、ダム事業審議委員会が設置されて、着工に向け進んでいる。村でもプロジェクトチームをつくり検討されたと聞かされたが、今後の対応をどのように考えているのか伺う。

村長 現段階では、具体的な要望などは出していない。ただ、村が単なる水瓶であってはならないとは思っている。

建設過程において要望・要請なりを出して、少しでも村の活性化に結び付けて行きたい。

住民参加の体制が大切ではないか

問 「水瓶はできたが地域にプラスになるものは残らなかった」という結果にならないためにも、村・住民一体の取り組みがより大切だと思いませんか。

村長 今はまだ国からハッキリ示されていない段階であり「あれを作れ、これを作れとはちよつと」と思っている。それらのことを言える時期が来るのではないかと、思っているのでご理解願いたい。

第三セクターに 村内野菜の利用を

問 ホテルプラン等、村の施設で使用する農産物などはもつと地元で生産された物の利用を図ることが必要ではないか。

農協・生産者を含めた関係者同士の協議の場を持つなどの対策を取るなどして、地元からの安定供給ができる体制づくりが必要ではないのか。

村長 以前に「野菜個々の名前を挙げて、生産して下さい」と言った経緯がある。その時は「品が揃い」

などの点で個人的に買入れするには大変な面がある、と聞いたことがある。村にも品質的には優秀な物が採れるとよそから来た人が感心するほどの品目も

あるわけで、生産組合的な体制をつくり、ある程度の基準に合った品揃えができれば希望にかなえるのではないかと思っている。



東成瀬で開催された開放講座

乳幼児保育に関する 村の考えを伺う

問 若い人達から乳幼児保育の必要性、幼児保育の時間を延長して欲しいという声が聞こえてくる。

以前は保育所で時間の延長をしたことがあると聞いているが、現在はどうなっているのか。

今まで乳児保育に関して検討されたことがあるか。今後の、乳児保育について村の考えを伺いたい。

村長 村としても真剣に対応し部門部門でやっており、今後も前向きに取り組んで行きたい。

ただ、職員の出動・退庁の時間または車の問題、対象となる人数なども考えながら、さらにはアンケート調査なども行い、それらを参酌したうえで、考えてみたいと思う。

スポット

こんな質疑がありました

今回は、1億4千万円あまり追加して
 総額34億2千6百27万2千円となった
 平成8年度一般会計予算の
 歳出補正にかかわる主な質疑に
 スポットをあててみた



創立記念式典などは今秋に予定されている

平成八年度一般会計補正予算は、
 満場一致で原案可決となった。

旧学生寮の維持費を どう見ているか

富田議員 旧学生寮を現状で維持してゆくために年間幾らの経費がかかるか。総務課長 固定資産税は免除、電気・水道は停止している。冬期間の雪おろしなどに費用が掛かると思われるが積算はしていない。

下水道負担金の 積算根拠を伺う

富田議員 十文字町への下水道負担金の算定基礎は、どうなっているのか。総務課長 敷地面積割りによる負担金で、㎡当たりが三百八十円で八百五十九㎡に対し、三十二万七千円を措置したものである。

天正の薄散策路などは どこでどう造るのか

富田議員 緑とふれあいの里整備事業で行う天正の滝散策路や展望台はどこに造るのか。

農林課長 全国五カ所、秋

田県では本村一カ所に指定された新しい事業である。散策路や展望台などは現在在の場所・ルートなどを基に考えている。

元スキー場周辺の 整備も必要だ

佐藤(正)議員 緑とふれあいの里事業に関連し、元のスキー場エリアの整備もするべきではないか。現状は土捨場とこみ捨て場になりつつある。

企画課長 現在土捨場的になつてる部分もあるが、日影線の工事の完了とともに無くなるので、この後検討してみたい。

須川湖キャンプ場の 管理人は何人か

伊勢谷議員 村で運営していた昨年までの須川湖キャンプ場は、何人で管理していたのか。

商工観光課長 通常は一人が良いが、夏休み中や土日のようなときは二～三人を臨機にお願いしてきた。

大柳沼周辺の修理費の 主な内容は何か

佐々木(昭)議員 大柳沼周辺の修繕とは何をどう修理するのか。

商工観光課長 駐車場の案内看板の丸太交換、街灯の修理、遊具の丸太などの交換、テントサイトの板などの交換などである。

中学校創立記念事業が なぜ補正予算なのか

伊勢谷議員 中学校五十年記念事業に対する予算は、なぜ今の補正なのか。教育委員会総務課長 今年が五十年目に当たる。私どもは満五十年と考えていた。しかし四十年目は四十年目であった経緯がある。

今年に入って地域やPTA、学校等々の盛り上がりから「やりたい」旨の打診があり、いろいろ検討した結果「五十年目でも悪くはないだろう」と言う結論に達し、予算化をお願いするものだ。

あなたの部落の「要望」は このように……

＝ 村議会議員が現地の視察調査を実施 ＝



現地を踏査する議員の一行

議会では各部落から出された改良工事などの要望について、六月六日と七日に現地視察を行った。視察当日各部落では、部落役員の方々に現地案内や事情説明などに立ち合っていた。現地の実態や要望内容を確認した議会は、村長に対して「各部落の要望などをどのように対処または処理して行く方針であるか」を確認したところ、次のような回答を得た。

議会ではこのことについて、村単独事業の着工促進の要請や国・県などへの事業採択の要請など、議会の立場から積極的な支援をして行くことにしている。

平成8年度、部落要望事項と村の処理方針一覧

部落	要 望 事 項	村 の 処 理 方 針
滝 の 沢	①村道不動沢線の改良舗装工事促進を ②村道として、若宮線の新設を ③簡易水道の改修と消火栓の設置を ④倉淵地内の道路改良を ⑤水田の暗渠排水工事を	①本年度で耕作地までの舗装が完了する。 今後は人家優先の道路改良を重視したい。 ②中山間総合整備事業の計画に入れて検討中。 ③下水道事業計画と同時施行で改良したい。 ④バイパス完了後に検討するので用地関係者の協力を確認願いたい。 ⑤中山間総合整備事業の計画に入れて検討中。
下 田	①村道・沢方下田線のコンクリート舗装を ②村道・下田1号線の改良舗装を ③国道342号線沿いにU字溝の設置を	①この路線の急勾配急カーブの改良は平成7年度で完了と考えている。 ②バイパス工事完了後に全面改良を予定。 ③県に要望する。
田 子 内	①佐々木正園宅横から齊藤正志宅の間の村道の拡幅改良を ②佐々木直松宅前から佐々木誠治宅の間の村道の拡幅改良を ③大沢川から迎田部落への水路の取水口の改良を ④林道などの補修を ⑤荒砥沢に砂防堰堤の築造を	①今年度測量し、関係者と協議したい。 ②年次計画で実施したいが用地関係者の協議を願いたい。 ③県土木事務所で現地を調査する。 ④年次計画で対応してゆきたい。 ⑤(用地困難などから、要望取り下げ)
平 良	①発電所下流の水路工事を ②農道下村1号と2号の舗装工事を ③成瀬川(宝竜台)の護岸工事を ④のぞき橋の舗装を	①中山間総合整備事業で本年度着工する。 ②対応できる補助事業を検討している。 ③現況では洗堀もなく、災害復旧は無理。 ④全村の橋梁を補修中であり、検討中。

部 落 名	要 望 事 項	村 の 処 理 方 針
肴 沢 ・ 蛭 川	①雪崩防止対策を ②部落中央部にゲートボール場の新設を ③前山林道の補修を ④村道、桶清水線に横落としの取り付けを ⑤NHK道路の補修を	①県に要望済。用地承諾に向け話し合い中。 ②再度調査、検討を重ねてゆきたい。 ③県単林道竣工後に現地を見て対応。 ④本年度に実施する。 ⑤山岳道路としては整備されていると考える。
岩 井 川	①国道397号から入道へ入る三叉路の左側法面にある 岩石の除去を ②国道342号、城下坂の側溝改良を ③主要地方道、野尻線に側溝を ④空掘地内の道路に側溝の敷設を ⑤地蔵坂線を現道舗装でも良いから改良を	①本年度中に施行する。 ②本年度中に施行する。 ③予算要望し、計画的に実施する。 ④距離もあり現況をバックホー等で整備したい。 ⑤年次計画で対応したい。
手 倉	①真戸・椿台線の現道舗装を ②バス停から手倉橋間の拡幅改良を ③旧道、松根線の延長を ④農村公園の造成を ⑤四郎兵山道の改良舗装を	①待避所も含めて計画的に実施したい。 ②今年度は橋の舗装と局部改良を施行。 国道からの拡幅はその後に検討。 ③現在測量中、今年度は100mを改良予定。 ④中山間総合整備事業の計画に入れて検討中。 ⑤全面改良の要素があり、現地を見て検討。
椿 台	①鈴木喜一郎宅裏から成瀬川までの間の排水路の整備を ②間木用水路（明通堰）の改修を ③簡易郵便局から公民館までの道路改良と 消雪道路化対策を ④椿台地内と小五里台地内の国道側溝を流雪側溝に改良を ⑤林道大沢滝の下線に結ぶルートとして 掃部畑林道の開設を	①国道横断暗渠が必要、県に要望する。 ②中山間総合整備事業で、本年度着手。 ③拡幅は困難。舗装は補修で対応。 消雪は、水関係の検討が必要。 ④両地域とも、県に要望中である。 ⑤新設であり、充分検討したい。
五 里 台	①通称「モテナラ線」に国道への迂回路を ②セン沢に流水溝を	①中山間総合整備事業で検討中。 ②県に要望中である。
谷 地	①国道342号の路肩補修を	①様子を見て県に要望したい。
天 江	①高橋善吉宅横から高橋朝治宅・高橋幸雄宅を回る 道路の改良を水路とともに ②部落内の国道にU字溝の設置を ③小柳沢と国道との交差点の側溝改良を ④アンテナ道路の整備を ⑤通称「野の道」の整備を	①県に、調査要望を出して計画したい。 ②新規要望であること、と用水路であることから 県への要望は検討中。 ③県に要望中である。 ④機械借り上げで対応したい。 ⑤機械借り上げで対応したい。
大 柳	①高橋静夫宅前から高橋富雄宅の間 の村道の拡幅改良を ②鈴木清一宅前から成瀬川までの 排水路工事を ③水路用U字溝の現物支給を	①中山間総合整備事業で対応。 ②中山間総合整備事業で対応。 ③30%負担の現物支給。
草 の 台	①ワサビ沢に砂防工事を ②ワサビ台の村道に砕石の敷設を ③国道から神社までの道路の舗装を ④土寄沢に砂防工事を ⑤菅の台橋のたもとの土砂崩れの 補修を	①平成7年度の施行直後でありそれ が埋まってから要望してゆきたい。 ②現地を見て対応したい。 ③検討してみたい。 ④県に要望する。 ⑤道路災害での対応となると 思われる。



要望箇所を詳細に確認!!

私もひとこと

全員発言の議会を！



田子内 高橋 進さん

最近、議会だよりに目を通すようにしている私ですが、何か物足りないように感じます。それは、議会で質問などをする人がいつも同じような人だからです。

村民が選挙で一致団結し一人の人を応援し、議会におくったはずのその人が、議会だよりに出てこないということは、さびしいことではないでしょうか。たとえば、反対意見でも賛成意見でもいいから質疑応答に参加し、議会だよりに活字として載れば、私たちの投票したあの議員さんが何を考え何を思っているかを少しでも理解でき、次の選挙にプラスになると思いま

す。議会だよりは、議会を傍聴する機会のない私たちにとって、行政と村民をつなぐパイプであり、議員さんたちには、がんばり表にもなると思います。他町村には、議会に出席しているだけの「おじぞうさん議員」もいると聞いています。私たちの選んだ議員さんには「毎回の議会で全員が発言し合う、活気ある議会」を望みます。

内閣総理大臣ほか国の関係省庁などに次のような意見書を送付することとした。
▽WTO協定改定・セーフガードの発動など、地域農業・経済を守り発展させる施策を求める意見書
▽第九次治水事業五箇年計画の策定と推進に関する意見書
秋田県知事に対して、次のような意見書を送付することとした。
▽公務員倫理に背く秋田県政の食糧費問題について徹底解明を求める意見書

村では育苗施設の建設を具体的に計画している。場所や人員などいろいろ大変だろうが、苗の供給が可能になる日も近い。
(委員：佐々木昭次郎)

採択 としての 請願・陳情

- ▼岩井川字馬場の、農業・生活用水路改修に関する請願
- ・岩井川字馬場 備前義雄、ほか八名
- ▼WTO協定改定・セーフガードの発動など、地域農業・経済を守り発展させる施策を求める請願
- ・農民運動秋田県連合会委員長 佐藤長右衛門
- ▼年金受給者の戸籍記載事項証明手数料の無料化について
- ・全日本年金者組合秋田県本部執行委員長 渡辺浩記ほか
- ▼県民の税金ムダづかいに徹底的にメスを入れ、県民に開かれた清潔な県政を求める陳情
- ・新日本婦人の会秋田県本部代表者 地主あや子

みなさんからの

請願・陳情

このようになりました

継続調査とした陳情

- ▼定住外国人に対する地方選挙への参政権に関する議会決議を求める陳情
- ・在日本大韓国民民団
- 秋田県地方本部地方団長 朴昌沫

不採択とした陳情

- ▼定住外国人の地方参政権に反対する陳情
- ・在日本朝鮮人総連合会
- 秋田県本部常任委員会
- 代表者 柳栄夏

意見書の送付

これからの暑い日が来るはずだが、七月になってもまだ肌寒い日が続く。「豊作を笑顔で迎えたい」というのは、前回の編集委員のことばであった。分けつも充分。あとは天気しただけだが、秋の作業が楽にできるよう「中干し」を充分にしたいものだ。

実りの秋に稲刈り機械が入られず、手刈りするようでは本当に大変なことだ。くれぐれも中干し管理には手抜かりのないように。

六月議会は、村議選から一年過ぎて、しかも忙しい時期であったせいも、傍聴をする人も少ない定例会であった。

編集室